

\*\*\*\*\*

多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 83 号(2020. 3. 9)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

\*\*\*\*\*

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 83 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、村役場と連携しながら広域組織として活動に取り組む組織と、非農業者も参加した地域ぐるみで農業用施設の清掃等の共同活動を行っている組織を紹介します。

事務局からは、活動組織の代表者インタビュー、田んぼダムについて紹介します。

----- 第 83 号の目次 -----

1. 活動組織の紹介

☆ <sup>とよおか</sup>豊丘 村農地・農村保全対策広域協定運営委員会（長野県豊丘村）☆

☆ <sup>ひろみ</sup>広見 地域資源保全隊（愛媛県 <sup>あいなん</sup>愛南 町）☆

2. 活動組織の代表者インタビュー

☆ <sup>あきの</sup>浅野 美しい村づくり活動組織（兵庫県 <sup>いちかわ</sup>市川 町）☆

3. 活動のご紹介！～田んぼダム～

（編集後記）

-----

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

### ～ 豊丘<sup>とよあか</sup>村農地・農村保全対策広域協定運営委員会(長野県豊丘村)～ ■

#### ～地区概要～

長野県の南部、飯田<sup>いいだ</sup>市の北東に隣接する豊丘村の全域で広域活動組織として活動。

活動範囲は、田 144ha、畑 223ha、農道 207km、水路 146km、ため池 8箇所。

#### ～主な取組～

- ◎本組織は、平成 26 年度の本制度創設と同時に、村内の全ての行政区（9 組織）が参加して広域活動組織として発足しました。村役場に事務局を設置し、交付金の申請等に係る事務や施設の長寿命化工事の発注から施工管理、検査、支払までを事務局が担当する等、地域での事務処理の負担軽減を図っています。
- ◎基礎的な活動として、農道の補修や水路の泥上げ、ため池の草刈り等には、農家だけでなく地域の自治会や環境保全活動グループも参加し、地域ぐるみで地域資源の保全に取り組んでいます。
- ◎さらに、農村環境保全活動として、植栽活動をはじめ、外来種に係る調査や虫の生息環境を守るための水路の保全等も行っています。これらの取組を発展させ、各地域において、農業用施設の成り立ちや重要性を学ぶ活動へと展開できればと考えています。
- ◎今後も、広域活動組織の利点を更に活かすため、協定に参加する地域間で合意形成を図りながら、農山村の景観を後世に残すべく、積極的に本事業に取り組んでいきたいと思っております。



ため池周りの草刈り



水路の泥上げ



植栽活動

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

### ～ 広見<sup>ひろみ</sup> 地域資源保全隊(愛媛県<sup>あいなん</sup> 愛南<sup>あいなん</sup> 町)～ ■

#### ～地区概要～

愛媛県と高知県との県境にある愛南町の東部に位置する、大きく開けた平野部を中心とした水田地帯で活動。

活動範囲は、田 78.5ha、畑 7.2ha、開水路 9.0km、パイプライン 8.9km、農道 12.2km、ため池 15 箇所。

#### ～主な取組～

◎本組織では農業者だけでなく非農業者も参加した草刈り等の共同活動を行っており、特に地区全体での年1回の農業用施設の一斉清掃の際には、多く住民が参加しています。また、高齢等により営農ができなくなった農地の利用を仲介することで、荒廃農地の減少に努め、遊休農地の発生抑止につなげています。

◎長寿命化の活動では、建設技術者である構成員を中心に、積極的に直営施工に取り組み、委託工事についても、委託先と技術的な協議を行いながら経費削減と作業の効率化に努めています。

◎さらに、農業者・地域住民・地元小学校が連携して、コミュニティセンターに隣接した農地に、ひまわりやコスモス、レンゲ等を毎年植栽することで、植栽した花の栽培・管理を通じた児童の農業への理解促進、地域住民への景観形成に対する意識の向上等を図っています。

◎今後は、水路、農道等の施設を地域の財産として維持していくことの重要性を地域一体となって再確認し、それらを保全するための地域ぐるみの活動を継続的に実施しながら、今後懸念される高齢化や担い手不足に対応した農家の負担軽減や集落機能の維持を図っていきます。



ため池法面の草刈り



水路の泥上げ



ひまわりの植栽



植栽したひまわり

## ■2. 活動組織の代表者インタビュー

### ～<sup>あさの</sup>浅野 美しい村づくり活動組織(兵庫県 <sup>いちかわ</sup>市川 町)～■

#### 組織の概要

兵庫県のほぼ中央に位置する市川町のナンバーワン小規模高齢化集落「浅野区」の活動組織。活動範囲は、田 14.1ha、畑 0.2ha。対象施設は、水路 4.9km、農道 0.6km、ため池 6カ所。平成 19 年度の農地・水・環境保全向上対策の制度開始時から共同活動に取り組んでいる。

#### ～インタビュー～

Q： いつから活動組織の代表をされていますか。

A： 平成 27 年度から活動組織の代表をしています。本組織では設立当初から自治会の役員や経験者が活動組織の役員をすることとなっており、私も浅野区の区長を務めていました。

Q： どのような思いで組織を運営されていますか。

A： 浅野区は、市川町内で最も小規模、高齢化が進んだ集落です。この課題を解決するためには、若い人を増やす必要があります。簡単ではありませんが、私は不可能ではないと思っています。「浅野区に住んで良かった」、「浅野に帰りたい」、「浅野に住んでみたい」という3つの課題に挑戦する愛郷心を醸成する施策の推進が、本地区の課題解決に繋がると考え、様々な活動やイベントに取り組んでいます。



浅野美しい村づくり活動組織  
代表 藤本 忠義 氏

Q： これまでどのような活動をされてきましたか。

A： 当初は、農業用水路の補修が主な活動でしたが、平成 24 年の継続時から、獣害対策として鹿や猪の獣害防止柵を設置するなど、環境保全活動に活動範囲を広げました。現在では、自然環境保全と防災意識の高まりを受け、住民の安全安心な住みよい浅野づくりを視野に入れ、活動に取り組んでいます。具体的には、平成 26 年度、兵庫県の「ため池条例」が改正され、本地区が「モデル地区」に選定されました。これを契

機として、ため池周囲の桜の植栽、途絶えていた「池干し」の復活、ため池教室やウォーキング、そして、「野草観察会」や「里山巡りハイキング」の開催などにも取り組んでいます。

**Q：** 代表として、心掛けていることや一番苦労されていることは何ですか。

**A：** 活動組織構成員全員の総意を図るため、よく話し合うこと、情報収集すること、将来ビジョンの共通認識を図ることを心掛けています。

**Q：** これからの浅野区の農業はどうあるべきだと考えていますか。

**A：** 本活動によるため池の自然環境保全と連動した、環境創造型農業の推進を図るべきだと考えています。課題は、「おいしいブランド米」を作ること。この取り組みは、人の手による作業も多く低効率ですが、稲にはやさしいことをセールスポイントに小口販売も行っており、ブランド米まで「もうひと工夫」の段階です。



池干し

**Q：** 最後に、今後の展望をお願いします。

**A：** 最近、嬉しいことはUターン家族で戸数が増えてきています。今後も本制度の活動組織として自治会と同じ方向を目指し、連携して様々な活動に取り組みたいと考えています。浅野の四季折々の豊かな自然を明日につなぎ、ビジョンとして、「孫が一生住める浅野になればいいなあ」を掲げ、その実現を目指していきたいと思います。

【近畿農政局 農地整備課 多面的機能支払推進室】

### ■3. 活動のご紹介！～田んぼダム～■

近年、豪雨や台風などの災害が起こることも多くなっており、農地や住宅街にまで被害が及んでいる場合もあります。水田の多面的機能の1つとして、雨水を水田に一時的に貯めることで、下流域での洪水や周辺への浸水を防止・軽減させる「洪水防止機能」がありますが、この機能をさらに高める「田んぼダム」の取組についてご紹介します。

「田んぼダム」は、水田の排水口に小さな穴の開いた板などを取り付ける簡単な仕組みです。雨水を一時的に水田に貯めて時間をかけて水を流すことで、排水路が急激にあふれて浸水してしまうことがなくなり、防災・減災につながります。この「田んぼダム」の取組は、地域全体で実施することで、大きな効果が発揮されます。

本交付金を活用して、「田んぼダム」の資材購入や維持管理費等に支出することが可能ですので、取組としてご検討してみてもはいかがでしょうか。

#### ○「田んぼダム」の主な種類

落蓋方式：排水柵の底に穴の空いた板材を設置する方法

立板方式：排水柵の溝に穴の空いた板材を設置

片浮かせ式：調整板の片側に「隙間」を作る方法



落蓋方式



立板方式



片浮かせ方式

## ■編集後記■

はじめは他人事だった新型コロナウイルスが、今では自分事となっています。個人的には、帰宅時の手洗いやマスクの着用だけでなく、バランスのとれた食事を心がけるようになり、普段の生活を見直すきっかけとなっています。

さて、先日、研修の一環で東北へ行き、土地改良区の方や地域で法人経営を行っている農家の方からお話を伺う機会がありました。また、実際に東日本大震災で被災した地域の農地再編整備の現場などにも伺いました。短い研修期間ではありましたが、現地ごとに学ぶことも多くあり、大変勉強になりました。写真は、盛岡で食べたもつ鍋ですが、今まで食べたもつ鍋の中で1、2を争うくらいおいしかったです。



もつ鍋

◇バックナンバー◇

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/index.html](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html)

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇令和元年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai.html](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html)

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。  
どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力！

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/H29/pdf/logo.docx](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx)

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

[tamen\\_ml@maff.go.jp](mailto:tamen_ml@maff.go.jp)

-----  
【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、新谷）

TEL：03-3502-8111（内線5493）  
-----